




令和7年度進行管理・評価シート
日南市歴史的風致維持向上計画（平成25年11月22日認定）
（最終変更令和5年3月30日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 法定協議会等の開催	
各事業担当部局と事務局(教育委員会生涯学習課)との連携	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 日南市伝統的建造物群保存地区保存条例による	
現状変更行為の規制	2
2 城下町飫肥景観計画	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 守永家(旧飯田医院)保存整備活用事業	4
2 日南市飫肥重要伝統的建造物群保存地区保存事業	5
3 飫肥地区景観計画に基づく民家修景事業	6
4 伝統的建造物群保存地区見直し調査事業	7
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査・指定	8
2 文化財の普及・啓発	9
3 文化財の防災	10
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 新聞等報道記事	11
法定協議会等におけるコメント(様式4)	12

評価軸①-1
法定協議会等の開催

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
<p>法定協議会等の開催 各事業担当部局と事務局(教育委員会生涯学習課)との連携</p>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
<p>計画に記載している内容</p>	<p>本計画に基づく各事業の実施にあたっては、文化遺産の保存や活用に関わるまちづくり団体や市民、文化遺産所有者等の意見交換や協力を得ながら進めること。庁内では、歴史まちづくり庁内ワーキング会議において、文化財審議会や伝統的建造物群保存地区保存審議会、景観協議会等の関係審議会等の意見を聞きながら、各事業担当部局と事務局(教育委員会生涯学習課)が連携して事業を推進する。事業の方針や基本的内容については、法定組織である日南市歴史的風致維持向上計画推進協議会にて決定する。</p>		
<p>定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で</p>			
<p>令和7年度は、推進協議会(法定協議会)を開催し、進行管理・評価シートの確認を行った。 日南市伝統的建造物群保存地区保存審議会では、現状変更許可についての報告や7年度の伝建事業実施物件や8年度の伝建事業候補物件等について委員に説明を行った。また、日南市歴史的風致維持向上計画庁内ワーキング会議では、各事業の進捗状況の確認と、最終評価シート作成についての情報共有を行った。 各会毎に、事業についての委員の意見や指摘もあり、事業の完遂に向けての意見交換が行われ、進捗についての意識の共有を図ることができた。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		<p>事業を滞りなく進めるため、引き続き庁内ワーキングで情報共有等を行い、事業を進めていく。</p>	
<p>状況を示す写真や資料等</p>			
<p>1 日南市歴史的風致維持向上計画推進協議会 (1) 開催日: 令和7年6月13日(金) 15:00~16:00 (2) 場所: 日南市文化センター 2階会議室 (3) 議題: 歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価シートについて</p>			
<p>2 日南市伝統的建造物群保存地区保存審議会 (1) 開催日: 令和7年11月6日(木) 14:00~16:00 (2) 場所: 日南市立図書館 2階会議室 (3) 議題: 令和7年度 現状変更許可について(報告) 令和7年度 伝建事業について(報告) 令和8年度 伝建事業(候補)について(協議) 伝建地区見直し調査について(報告) 修景・許可基準について(協議) その他</p>		<p>日南市歴史的風致維持向上計画推進協議会の様子</p>	
<p>3 日南市伝統的建造物群保存地区保存審議会 (1) 開催日: 令和8年2月24日(火) 13:30~15:30 (2) 場所: 日南市立図書館 2階会議室 (3) 議題: 令和7年度 現状変更許可について(報告) 令和7年度 伝建事業について(報告) 令和8年度 伝建事業について(報告) 令和9年度 伝建事業について(協議) その他</p>			
<p>4 日南市歴史的風致維持向上計画庁内ワーキング会議 (1) 開催日: 令和8年3月17日(火) 14:00~14:30 (2) 場所: 日南市役所 生涯学習課会議室 (3) 議題: ア) 令和7年度日南市歴史的風致維持向上計画推進協議会の報告 イ) 各事業の進捗状況について ウ) 最終評価シートについて</p>			
		<p>日南市歴史風致維持向上計画庁内ワーキング会議の様子</p>	

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和7年度
項目	現在の状況	
日南市飫肥伝統的建造物群保存地区保存条例による現状変更行為の規制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 日南市飫肥伝統的建造物群保存条例では、保存地区内の現状変更はすべて許可制とし、特に必要と認められる物件には経費の一部を補助することができる。同上条例に基づいて策定された保存計画では、保存地区内の保存に関する方針や保存すべき内容、施設整備計画、経費補助等の計画を定めている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、保存計画に基づいた伝建地区内の現状変更許可申請書の提出が8件あった。申請内容等については、石垣の撤去や塀の新設、建物の新築や解体など多岐にわたったが、申請者と施工内容について協議、調整し、許可したことで、飫肥地区の歴史的風致に沿った町並みを維持することができた。問題になっていた空き家も解体されたため景観が向上した。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現状変更許可申請書を提出してもらうことで、飫肥地区の歴史的風致に沿った町並みを維持できているが、今後も機会あるごとに伝建地区の制度等について周知していく。

状況を示す写真や資料等

現状変更許可申請箇所

《現状変更許可申請の内容》

- ① 鈴木建設賃貸住宅外構工事 (伝建補助対象事業)
- ② 中島(康)家石垣撤去
- ③ 中島(康)家修理修景 (伝建補助対象事業)
- ④ 中島(孝)家修景 (伝建補助対象事業)
- ⑤ 岩切家小屋・ブロック塀撤去及び塀新設
- ⑥ 飫肥六丁目空き家解体
- ⑦ 藤澤家石積み及び塀新設
- ⑧ 高山家修景

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度
城下町飲肥景観計画		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

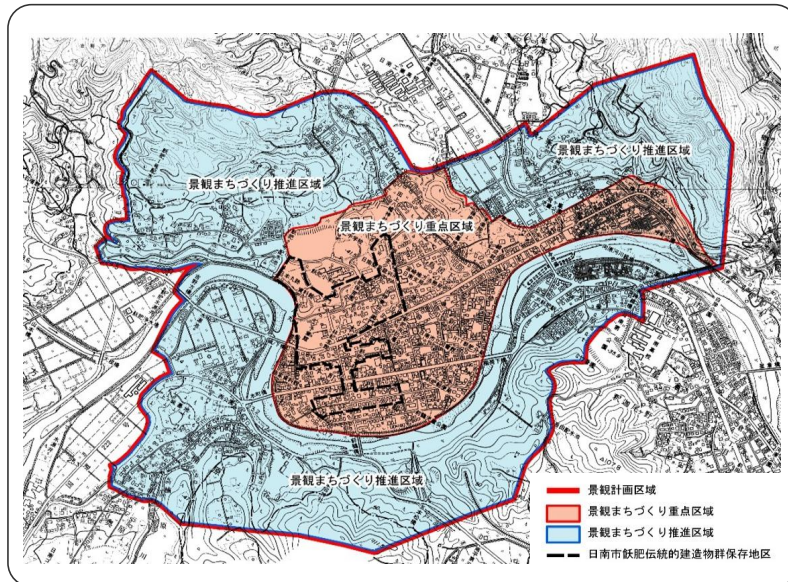
計画に記載している内容
 本景観計画では、景観計画区域として景観まちづくり重点区域と景観まちづくり推進区域を設定し、区域内の景観形成基準に基づき、届出対象行為を設定している。
 景観形成基準では、建築物の高さ、色彩や形態・意匠等についても、飲肥の歴史的まちなみ景観にあった基準を設け、各種開発行為等も含めて、事前協議の上、届出することを義務付ける。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、景観計画に基づいた建築物等の届出は14件だった。新築のほか、屋根や外壁の塗装塗替えによる届出もあった。届出の必要性について、広報誌にて周知を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観計画に基づいて、重点区域内での景観が維持できている。今後も、事前協議及び届出等、景観計画について、建築・設計業者や不動産業者に至るまで周知徹底に努める。

状況を示す写真や資料等



届出対象行為

景観計画区域において、以下に定める行為を行う場合、あらかじめ市に届出を行う必要があります。

届出対象行為		行為の規模	
		景観まちづくり重点区域	景観まちづくり推進区域
建築物 ^{※1}	新築、増築、改築 ^{※2} 若しくは移転	すべて	
	外観を変更することとなる修繕若しくは模様替え又は色彩の変更	外観の変更に係る部分の見付面積が10㎡以上のも	
	太陽光発電設備(温水器含む)の設置	すべて	-
	除却	すべて	-
工作物 ^{※3}	新設、増築、改築若しくは移転	すべて	
	外観を変更することとなる修繕若しくは模様替え又は色彩の変更	すべて	
	垣、門、塀の除却	すべて	-
開発行為 ^{※4}		すべて	3,000㎡を超えるもの
屋外における土石、廃棄物 ^{※5} 、再生資源 ^{※6} その他の物品の集積・堆積・貯蔵		10㎡を超える行為若しくは高さ1.5mを超えるもので、堆積期間が90日以上のも	
土地の形質の変更 (土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採、その他の土地の形質の変更 ※開発行為は除く)		すべて	3,000㎡を超えるもの
木竹の植栽又は伐採 (保安林 ^{※7} での行為を除く)		土地の用途変更となるものすべて	

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
守永家(旧飯田医院)保存整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的な建造物である旧飯田医院(洋館)と主屋(和館)について、公開活用を図るため、屋根、外壁、内装等の全面修理を行い、観光案内や休憩、地場製品の販売軽食の提供等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
和館については、老朽化が著しく、瓦の飛散等の被害防止のため解体済。 洋館については、これまで民間利活用による公募等を実施したが、活用事業者が決まらないままである。令和6年度に耐震補強の調査設計を行ったところ、耐震補強工事に多額の経費がかかることが判明。令和7年9月には、飴肥まち協主催で、旧飯田医院のあり方に関するワークショップを開催、様々な意見をいただいた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	耐震基準を満たしておらず、現状のまま利活用を想定することは困難である。利活用する場合は耐震改修が前提となり、多額の費用を要することが判明した。景観や歴史的価値、寄付者の意向、様々な保存の仕方を慎重に検討した上で、今後の方向性を示す必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			
守永家(旧飯田医院) R7.4.15撮影			

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
日南市飢肥重要伝統的建造物群保存地区保存事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和52年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化庁補助事業)

計画に記載している内容 日南市重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、直接事業として①「小鹿倉家主屋及び土蔵修理」、②「豫章館土蔵修理」、間接事業として③「中島(康)家主屋修理納屋修景」、④「中島(孝)家新築修景」を実施した。
 ①と②については、工事内容の調整や工事入札不調などにより着工が遅れ、来年度へ繰り越すこととなった。
 特定物件である③の主屋は外壁と建具を中心とした修理、納屋は屋根と外壁の修景工事を行った。
 ④は伝建地区で初めての伝建補助による新築物件であり、今後の修景事業の基準となるため、伝建審議委員や文化庁と新調に調整をしながら事業を進めた。
 令和7年度は、修景補助の補助金に上限額を設けるなど、昭和52年の選定時以降初めて補助金交付要綱を改定した。また、修景や許可の基準を整理し、飢肥の歴史的風致の維持と向上を図りやすいよう制度を見直した。

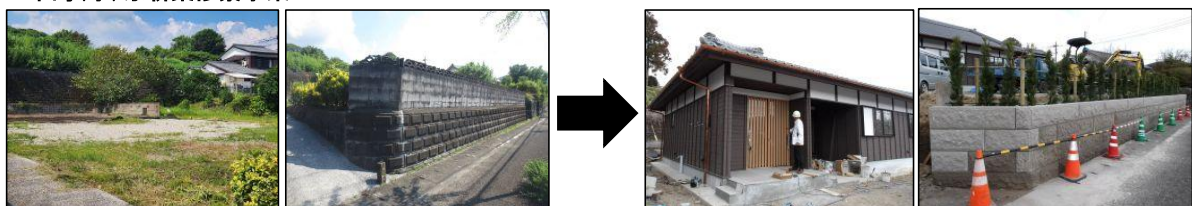
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 令和8年度、市は5件の修理修景事業を国に要望しており、引き続き事業を進めていく。

状況を示す写真や資料等



中島(孝)家新築修景事業



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
飫肥地区景観計画に基づく民家修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 飫肥地区景観計画の区域内において、景観計画の景観形成基準に沿った修景を行う者に対して、修景費用の補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

日南市景観形成推進事業補助金交付要綱に基づき補助を行っている。令和7年度については、申請がなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今後もホームページだけでなく効果的な周知方法を探りながら、地域に広く周知していく。

状況を示す写真や資料等

景観計画に基づく修景位置図

住宅の外壁修景

令和3年度 事業写真

● 令和2年度: 2件

● 令和3年度: 2件

● 令和4年度: 0件

○ 令和5年度...1件(繰越)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
伝統的建造物群保存地区見直し調査事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

飢肥城下のうち、地区外の地域でも良好な歴史的風致を保つ地区があるが、居住者の高齢化等でそれらの維持も難しくなっている。これら地区の課題を正確に把握し、今後の町並み保存に努めていくために、伝統的建造物群保存地区の見直し調査を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝建地区選定後、まもなく50年が経過しようとしており、改めて地区の現状を把握するための調査を実施した。調査は鹿児島大学工学部長の木方十根教授の研究室に依頼し、目視や、3Dカメラを搭載した自動車を走行させての調査を行ってデータを収集し、報告書として製本することになっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

当調査結果は、今後策定を予定している保存活用計画に反映させ、飢肥の歴史的風致の維持向上のため、伝建地区保存事業で活用する。

状況を示す写真や資料等

4-1-1. 現状

近年、伝統的建造物群保存地区を含む飢肥地区では、地区住民や所有者の高齢化に伴い、空き家や空き地が見られるようになってきている。今後、高齢化した居住者の死去等に伴い、さらにその数は増加するおそれがある。こうした放置空き家とその敷地の存在は、飢肥の歴史的景観を悪化させるだけでなく、観光地としての魅力や居住空間としての価値を大きく損なうことになる。

なお、飢肥地区の高齢化率だが、平成24年3月31日時点で35.4%(日南市平均32.0%)だったのが、令和8年2月1日現在で43.7%(日南市平均40.9%)と、1年で約0.6%ずつ高齢化が進んでおり、単純に計算すれば10年後には住民の約半数が高齢者ということになる。

令和8年2月現在の空き家状況をまとめた(図4-1)、飢肥地区の中でも、酒谷川に囲まれた地域に絞って調査したところ、60件の空き家があり、特に東側と南西側に多く分布していることが分かった。さらに、伝建地区の内外で比較すると、伝建地区内に8件、伝建地区外には52件の空き家があった。伝建地区内に空き家が少ないのは、昭和52年の伝建地区選定以降、積極的に修理・修景(特に修景)による歴史的風致の向上に努めてきたことなど、手厚い補助事業が大きく起因しているのではないかと推察する。

図4-1 飢肥地区の空き家分布図(緑色の枠内が伝建地区)

6-2-2. 伝統的建造物(工作物・環境物件)の現状

【街路立面図による特定物件の特定と現状の評価】

本章では、これらの保存活用事業が実際の町並み空間にどのような影響を与えているのかを明らかにすることを目的とする。具体的には、現地における町並み調査によって得られた記録および点群データを用いて作成した街路立面図を基に、各街路空間を構成する要素である建造物や工作物の現状および残存状況について分析を行う。

図6-7 街路立面図例

【5段階評価の指標】

現地調査による特定物件の工作物の評価については、実際に飢肥武家屋敷群内を歩き、特定物件に該当する工作物の保存状態を観察し、5段階評価を行った。評価基準は以下の通りである。

- 4: 状態は良好で、特段の修理を要しないもの。
- 3: 表面の汚れや軽微な劣化のみが見られるが、早急な修理は不要なもの。
- 2: 部分的な損傷や構造的な不安定が確認され、早急な修理が必要なもの。又は、伝統的工法で修理が行われていないもの。

調査報告書の一部

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財調査・指定		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	歴史文化基本構想策定時の調査や、これからの調査を元に、市域全体の指定文化財の見直しを進め、指定して保護していくものについては、積極的に指定していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国登録有形文化財の花峯橋の復原にともない、解体及び部材調査を実施した。花峯橋は昭和4年(1929)に堀川運河に架設された木造橋で、幾度かの修理を経て使われてきたが、老朽化が著しく、平成25年10月から全面通行止めとなっていたが、令和6年度に開始した油津文化遺産振興事業の一環で、令和10年度にかけて復原を実施することになった。今年度は解体と部材調査を実施し、調査報告書を作成した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	油津歴史文化遺産活用事業推進会議や現地説明会等を開催し、工事について市民の理解を得る。		
状況を示す写真や資料等			
 			
<p>上の写真は解体途中の様子。</p> <p>下の写真は、解体した部材が保管されている南郷町中央地区体育館で詳細調査をしている様子。</p>			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
文化財の普及・啓発		現在の状況 ■実施済 □実施中 □未着手

計画に記載している内容 文化財見学会や、ワークショップによる地域の文化財の再発見、文化財マップや文化財冊子等の配布により、文化財の普及啓発に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の文化財等をバスで巡る「新ふるさと発見講座」を6回開催した。本年度は、地域ごとに座学1回と現地講座を1回実施し、3地域を中心に講座を実施した。
また、国登録有形文化財の花峯橋の復原事業にあたり、市内小学生や地域住民を対象に現地説明会を実施し、パンフレットを作成して配布した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

講座については、ただ体験や学びを得るだけではなく、文化財保護の重要性への理解をより深められるよう内容を工夫する。また、土蔵等の文化財の修復を予定しているため、ワークショップ等を実施し、文化財行政が行っている事業を市民に周知する。
状況を示す写真や資料等

1 新ふるさと発見講座

日にち：全6回

12月9日(座学)、12月23日(現地)、1月13日(座学)、1月27日(現地)、
2月10日(座学)、2月24日(現地)

場 所：まなびピア視聴覚室、吾田・油津・鉢肥

参加者：15名

内 容：座学を含め、文化財や施設等をわかすぎ号で回り、日南市を再発見する全6回の講座を実施。



講座の様子

2 花峯橋解体現場見学会

日にち：6月17日・18日

参加者：油津小学校5年生、市民、日南市議会議員

内 容：文化財保存計画協会の研究員による現状と復原についての説明



油津小学校児童の見学の様子



市民の見学の様子

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 指定文化財については、市文化財保護条例で管理者を定め、日常的な管理と見守りを行うことで、防火、防犯、防災につとめる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和8年1月26日(月)の文化財防火デーにあわせて鉄肥の小村寿太郎生家にて消防訓練を行った。参加者は関係課職員を含めて約20名であった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

次年度以降も継続して実施していく。

状況を示す写真や資料等

1 文化財消火訓練

- (1)日 時:令和8年1月26日(月)
- (2)場 所:小村寿太郎生家(鉄肥)
- (3)内 容:実際の火災を想定し、参加者それぞれが役割を持って、初期消火・通報・避難誘導等の一連の流れを確認しながら訓練を行った。



評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
		評価対象年度
		令和7年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
飫肥城の歴史たどる 文化財ウォーク市民楽しむ	令和7年4月11日	宮崎日日新聞
ちよっとおでかけふるさと再発見 往年の繁栄伝える文化財 油津赤レンガ館	令和7年5月4日	宮崎日日新聞
泰平躰優雅 観光客魅了 飫肥城跡で本町組が公演	令和7年5月10日	宮崎日日新聞
日南市で今季初のアカウミガメ産卵確認 風田・平山海岸	令和7年5月31日	宮崎日日新聞
季節ごとに異なる趣 飫肥城の楽しみ方を教えて	令和7年6月18日	宮崎日日新聞
花峯橋「復元楽しみ」 日南市、住民ら向け説明会	令和7年6月24日	宮崎日日新聞
小村侯の功績しのび、日南学園生らベル慣らす 日南市役所で「ベル・リングング」	令和7年9月7日	宮崎日日新聞
明治村 小村寿太郎記念館と協定 「ポーツマス条約」締結120年	令和7年9月6日	中日新聞
「ポーツマス条約の机」で交流協定 小村寿太郎記念館と博物館明治村(愛知県犬山市)	令和7年9月11日	宮崎日日新聞
坂元棚田で稲刈り本格化	令和7年10月6日	宮崎日日新聞
城下町に現代アート 日南市飫肥で文化イベント	令和7年11月2日	宮崎日日新聞
小村侯「行動力すごい」 日南・飫肥中生 功績学ぶ	令和7年11月6日	宮崎日日新聞
小村侯の遺徳しのぶ 命日に関係者ら墓前祭	令和7年11月26日	宮崎日日新聞
飫肥城大手門に伝統の正月飾り 伊東家ゆかり、来年15日まで	令和7年12月17日	宮崎日日新聞
油津まちづくり見直し 日南市、「旧河野宗泰家」整備など切り離し	令和8年1月9日	宮崎日日新聞
由緒施設にひな人形 日南・飫肥城周辺、15日まで	令和8年3月4日	宮崎日日新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
市内の文化遺産や伝統芸能等が数多く報道された。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	今後も日南の歴史的風致を幅広く発信していくため、関係課及び関係機関との連携を充実させる必要がある。	
状況を示す写真や資料等		

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	令和7年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 日南市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和8年6月5日(金) 14:30~17:00	
(コメントの概要)	
<p>1 評価軸③-1 守永家(旧飯田医院)保存整備活用事業について</p> <p>《委員からの意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで保存活用を目指してきたが、建物の老朽化により和館を解体し、洋館も耐久診断の結果から工事に多額の費用がかかることが分かっている。地区住民の考え方も変わってきており、建物を維持することが現実的ではなくなってきた。 ・このままでは、保存利活用を目指して集めた募金の使い道がなくなってしまう。市は一刻も早く建物の存続に関する方針を示してくれれば、そちらに募金を充てられる。 ・元々病院だった洋館には医学書が大量に残されている。日南地方だけでなく、県下の医学史にとっても貴重な資料であり、建物を取り壊すとしても、医学書は保存すべきである。 	
(今後の対応方針)	
<p>1 評価軸③-1 守永家(旧飯田医院)保存整備活用事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民の意見を聞くワークショップを既に開催し、建物を保存利活用する声がかつてほど聞かれなくなっている。この現状を踏まえた上で、建物本体を保存すること以外に、記録保存(例えば3Dデータによる記録)等、様々な保存の仕方を関係各課で検討し、住民から理解を得られる適切な方針を導き出す。 ・医学書については既に保存に向けた調査を始めており、引き続き、保存すべき資料の選定や保管場所の検討も含めて進めていく。 	